

c) 科目別シラバス

教科	社会福祉基礎	学科・学年	教養福祉科・1年	単位数	2単位
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉に関する基礎的な知識や技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身に付ける。 ・現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付ける。 ・対人援助のあり方や社会福祉制度の基本的な理解のもと、社会福祉に関する諸問題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。 				
使用教科書・副教材	「社会福祉基礎」(実教出版) 「新・介護福祉士養成講座 1 人間の理解」(中央法規)				
評価の観点	【関心・意欲・態度】 社会福祉について関心を持ち、社会福祉の意義や役割を適切に理解する。 【思考・判断・表現】 社会福祉の課題等について考え、自分の意見を的確に発表できる。 【技能】 社会福祉に関する資料や情報を適切に選択して、活用できている。 【知識・理解】 社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。				
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。				
授業の受け方及び学習方法	必要事項をノートやプリントに書き込む。積極的に演習に参加し、学んだことを記録し提出する。				
学期	項目	学習のねらい			
1学期	第1編 社会福祉の理念と意義 第1章 生活と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・進行する少子高齢化と人口減少の中で社会福祉が担う役割を理解する。 ・地域社会の変化について理解し、今後の地域社会のあり方を理解する。 			
	第2章 社会福祉の理念	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化に伴うライフサイクルの変化、多様化について理解し、ライフステージにおける社会福祉施策との関わりを理解する。 			
	第3章 人間の尊厳と社会福祉の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の理念「ノーマライゼーション」を地域社会でどのように活用していくかを理解する。 ・「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を理解する。 			
2学期	第2編 第1章 諸外国における社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の社会福祉の歴史や意義を知り、それらが我が国に与えた影響を理解する。 			
	第2章 日本における社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・政府による救済制度や近代社会福祉における先駆者たちの取り組みやそれぞれが担った意義を理解する。 			
	第3編 生活を支える社会福祉 第1章 社会福祉・社会保障制度の意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の意義・役割を理解するとともに、時代の変化に伴い、地域社会の中で求められる社会福祉のあり方を理解する。 			
	第2章 子どもの家庭福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉を推進する我が国の行政体制について理解する。 ・児童福祉政策の基軸である児童福祉法について理解する。 			

3 学期	第 3 章 障害者福祉 第 4 章 高齢者福祉 第 5 章 生活支援のための公的 扶助 第 6 章 国民生活を支える社会 保障	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉の意義について理解する。 ・ 高齢者の健康保持と社会参加の促進に向けたさまざまな施策について理解する。 ・ 介護保険制度について理解する。 ・ 生活保護制度について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉制度、医療保険制度の概要や仕組みについて理解するとともに、抱える課題を考察する。
------	--	---

教科	社会福祉基礎	学科・学年	教養福祉科・2年	単位数	2単位
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族あるいは地域社会が、個人とどのようにつながっているのか、そして私たちが参加する組織や集団とのかかわりを考える。 ・現代社会における社会保障の位置づけと今後の課題を知る。 ・高齢者や障害者が、自分らしい生活をおくるために必要なさまざまな諸制度を理解し、活用できるようにする。 				
使用教科書・副教材	「社会福祉基礎」(実教出版) 「新・介護福祉士養成講座 2 社会と制度の理解」(中央法規)				
評価の観点	【関心・意欲・態度】 社会保障のしくみに関心を持ち、今後の課題について意欲的に調査研究している。 【思考・判断・表現】 社会福祉の課題等について考え、自分の意見を的確に表現できる。 【技能】 諸制度の活用について、資料などを活用し、適切な支援ができる。 【知識・理解】 社会保障のしくみや様々な諸制度に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。				
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等を総合的に判断して評価する。				
授業の受け方及び学習方法	必要事項をノートやプリントに書き込む。積極的に演習を行い、学んだことを記録し、提出する。				
学 期	項 目	学習のねらい			
1 学期	私たちの生活と社会福祉 社会保障のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、地域、社会について理解し、福祉とどのように関わりがあるのか考える。 ・社会構造の変化およびライフスタイルの多様化について理解する。 ・社会保障の基本的な考え方を理解するとともに、社会保障制度の歴史と変遷を学ぶ。 ・現代社会の社会保障制度のしくみを理解する。 			
2 学期	介護保険制度 障害者の支援を担う法制度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の創設背景と目的について理解する。 ・介護保険制度のしくみを学び、国や自治体、各種が果たす役割について考える。 ・介護保険制度下での専門職の役割について学ぶ。 ・障害者自立支援制度の成り立ちと、その目的や特徴を理解する。 ・障害者自立支援制度のしくみを学ぶとともに、制度に係る組織や団体の機能と役割を理解する。 			
3 学期	介護実践にかかわる諸制度	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の権利を擁護する諸制度を学ぶ。 ・高齢者や障害者が利用する保健・医療サービス及び施設・制度について学ぶ。 ・社会福祉法における権利擁護のしくみを学ぶ。 ・生活保護・年金・医療保険に関する制度を理解する。 			